

新型コロナウイルス感染症の影響； アンケート調査を通じたASEAN各国 における中小企業の資金需要等

2020年6月29日 ASEANワークショップ


財務省 財務総合政策研究所 国際交流課
研究員 姫路 貴士


(注)本資料に掲載しているデータ等は、基本的に公開情報をソースとするものである。また、本資料において意見の表明に当たる部分は、筆者個人の見解であり、財務省、日本政府の意見を代表するものではない。また、英語で記された原文の日本語訳は筆者によるものであり、公式の翻訳ではない。


1. アンケート調査概要


- 財務総研では、日本公庫の協力の下、ASEAN諸国の政府系金融機関に対して、中小企業金融に関する技術協力を実施。
- 今般、これまでに同技術協力を実施してきたベトナム、マレーシア、ラオス、ミャンマーのASEAN 4か国の政府系金融機関に対して、新型コロナウイルス感染症が各国の中小企業の資金需要に与える影響等についてアンケート調査を実施。
(アンケート実施時期: 2020年4月中旬)

<アンケート実施先金融機関概要>

 ベトナム社会政策銀行 (VBSP)	
英語名称	Vietnam Bank for Social Policies
設立	2002年
出資	政府が100%を出資
業務内容	貧困層、零細企業支援が中心
技術協力期間	2003年～2011年

 マレーシア中小企業銀行 (MSMEB)	
英語名称	Malaysia SME Bank
設立	2005年
出資	政府が100%を出資
業務内容	中小企業支援を目的とした銀行
技術協力期間	2008年～2011年

 ラオス開発銀行 (LDB)	
英語名称	Lao Development Bank
設立	2003年
出資	政府が100%を出資
業務内容	商業銀行業務 (融資先は中小企業が中心)
技術協力期間	2011年～2017年

 ミャンマー経済銀行 (MEB)	
英語名称	Myanma Economic Bank
設立	1976年
出資	政府が100%を出資
業務内容	商業銀行業務 (融資先は中小企業が中心)
技術協力期間	2015年～(継続中)

(出典) 各銀行ウェブサイト

2. アンケート結果(中小企業の資金需要への影響 ①)

- 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大前後での中小企業の資金需要について、ベトナム、マレーシアの金融機関からは、各セクターとも増加しているとの回答であった。
- 他方、ラオスでは各セクターにおいて減少、ミャンマーでは変わらないとの回答であり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた事業者からの資金需要の増加は今のところみられていないようである。

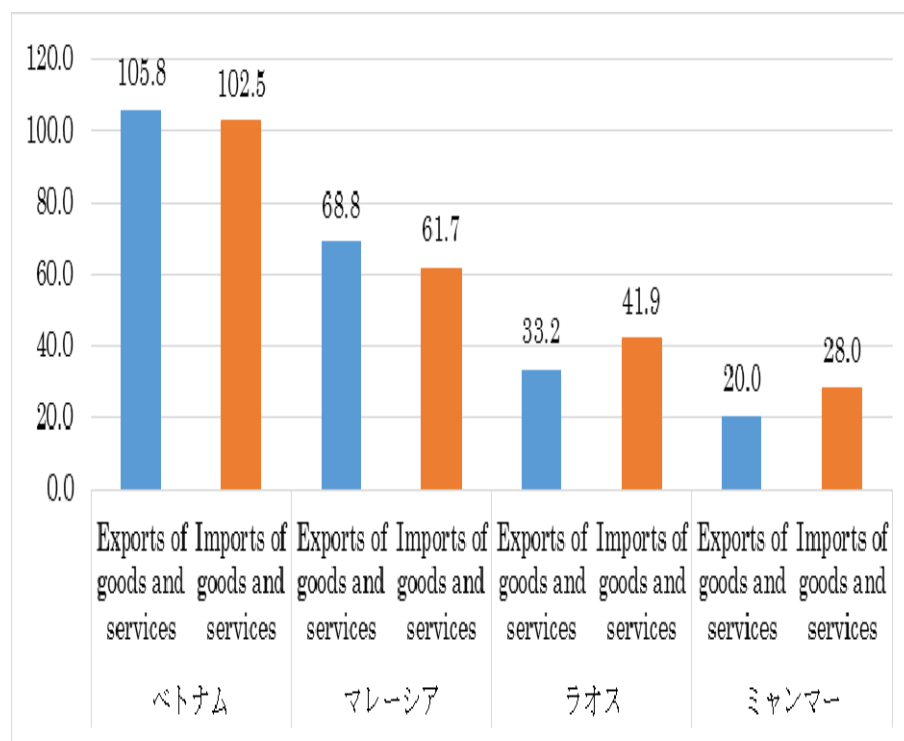
<アンケート結果(COVID-19の感染拡大前後での中小企業の資金需要の変化・産業別)>

	第一次産業	第二次産業	第三次産業
VBSP(ベトナム)	増加	増加	増加
	<ul style="list-style-type: none"> ・農産品の販売価格が低下し、資金繰りが苦しくなった農家からの資金需要がみられる。 ・中国等からの原材料の調達が困難となったため生産が中断し、資金繰りに窮している企業がみられる。 		
MSMEB(マレーシア)	—	増加	増加
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療用のゴム手袋の製造業では、生産増強等のための資金需要が増加している。 		
LDB(ラオス)	減少	減少	減少
	<ul style="list-style-type: none"> ・返済猶予等に対応しているケースが多く、新たな融資の資金需要は今のところみられない。 		
MEB(ミャンマー)	変わらない	変わらない	変わらない
	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の感染者の判明から日が浅く(3月23日に初確認)、今のところ資金需要に変化はみられない。 		

2. アンケート結果(中小企業の資金需要への影響 ②)

- 中小企業の資金需要が増加していると回答したベトナム・マレーシアと、減少・変わらないとの回答であったラオス・ミャンマーでは、物・サービスの輸出入の対GDP比や、民間セクターにおける銀行与信の対GDP比といった点で差がみられる。
- 各国の国内における感染状況の違いのほか、サプライチェーンの寸断による貿易の中断が経済に与える影響や、金融アクセスの状況における差が、各国金融機関の回答に表れている可能性があると考えられる。

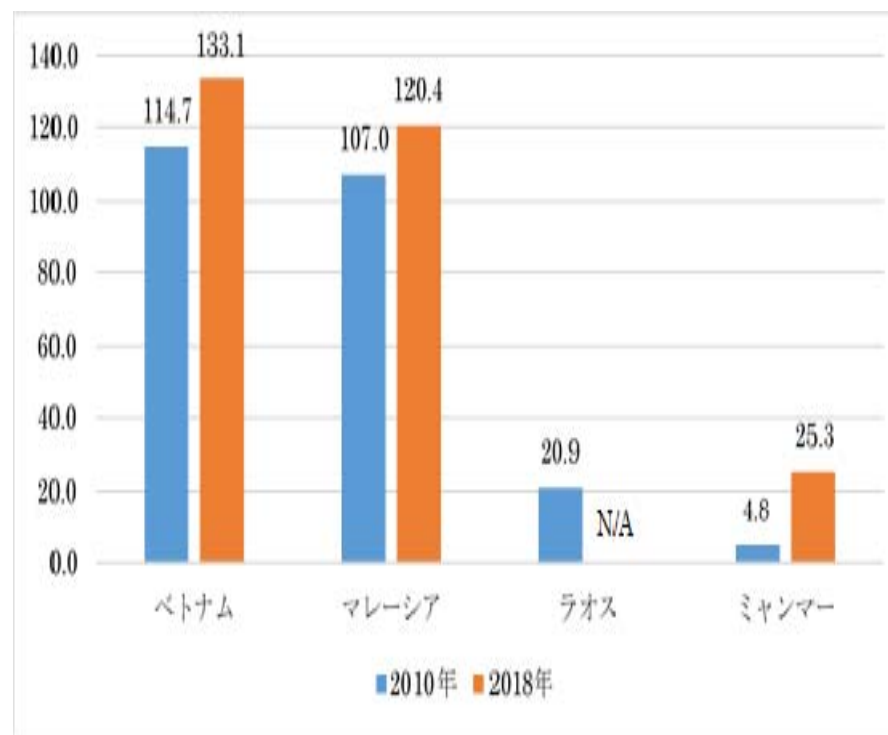
＜物・サービスの輸出入の対GDP比＞



(注) 各国のデータは、ベトナム・マレーシアは2018年、ラオスは2016年、ミャンマーは2017年のものである。

(出典) World Bank Group「World Economic Indicators」

＜民間セクターにおける銀行与信の対GDP比＞



(出典) World Bank Group「World Economic Indicators」

3. アンケート結果(不良債権への影響)

- 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大が不良債権に与える影響については、ベトナムでは第一次産業において、マレーシア・ラオスでは各セクターにおいて今後不良債権の増加を見込んでいるとの回答であった。
- ミャンマーでは、現在のところ不良債権の増加は見込んでいないようであるが、金融システムの安定に向けた施策に影響を与えている面もみられる。

<アンケート結果(COVID-19の感染拡大が不良債権に与える影響・産業別)>

	第一次産業	第二次産業	第三次産業
VBSP(ベトナム)	今後増加見込	増加しない	増加しない
	・農業の顧客の大半は企業体力の乏しい零細農家であり、不良債権が増加する恐れがある。		
MSMEB(マレーシア)	—	今後増加見込	今後増加見込
	・2020年4月以降6か月間は、中央銀行の指示により借入金の返済が猶予されているが、6か月後以降に不良債権が増加する懸念がある。		
LDB(ラオス)	今後増加見込	今後増加見込	今後増加見込
	・経済活動の中断によりどのセクターでも不良債権増加の懸念があるが、特にホテル・観光業でその影響が大きいと思われる。		
MEB(ミャンマー)	増加しない	増加しない	増加しない
	・国内の感染者の判明から日が浅く(3月23日に初確認)、今のところ影響は出ていない。		